

## C-1 焼き杉工作

概要	杉板を焼き、磨き上げることで材質の変化の面白さを味わい、さらに手を加えることでオリジナリティあふれる作品をつくる活動				
ねらい	自然に親しむ	仲間づくり・協調性	課題克服・達成感		
	○		○		
	歴史文化に親しむ	知識	創意・工夫		
			◎		
条件	場所	あじさい広場、たけのこ広場 他		対象	小学生以上
	時間	およそ2～3時間程度		人数	100名程度
	時期	通年		天候	全天候実施可能
	料金	焼杉セット 270円/1人分、ごみ袋(大) 150円			
準備物	センターが貸し出しているもの		団体が準備するもの(共通)		
	<input type="checkbox"/> バーナーヘッド <input type="checkbox"/> たわし <input type="checkbox"/> はさみ <input type="checkbox"/> 耐火レンガ <input type="checkbox"/> ラジオペンチ <input type="checkbox"/> きり <input type="checkbox"/> 「センター」焼き印		<input type="checkbox"/> 教材代 <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> ガスボンベ(1缶10人分程度) <input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> ごみ袋 <input type="checkbox"/> 古布、タオル等(磨き用として) <input type="checkbox"/> ポスカなど絵具 <input type="checkbox"/> 木工用ボンド		
展開	1 事前(当日までの準備)				
	(1) ねらいや活動の流れを決める。 (2) 材料、道具等の準備をする。(要事前注文)				
	2 活動(当日の流れ) (1) 材料、道具等の確認、作り方の手順について、諸注意(安全面)等の説明→センター職員が行うことができます。 (2) 「焼き杉工作」の実施(基本的な流れ) ①材料、道具等を配る。 ②杉板をガスバーナーでまんべんなく焦げ目がつくように焼く。 →軍手を着用し、安全に実施すること ③表面の焦げやすさをたわしで擦り落とし、古布や新聞紙で磨き上げる。 ④ポスカなどの絵具で絵や色をつけたり、焼き印(要相談)を押したりして、作品として仕上げる。 ⑤金具をねじ込み、最後にひもをつける。				
3 事後(片付け) (1) 不要なものや用具を片付け、活動場所の清掃をする。 (2) お互いの作品を鑑賞し合い、褒め合ったり作品作りについて振り返ったりする。 (3) 用具の返却、終了の報告					
実施の留意点	<input type="checkbox"/> 材料や用具等は、基本的に実施団体でご準備ください。上記、貸出物品については数に限りがありますので、ご相談ください。 <input type="checkbox"/> ガスバーナーを扱います。事前には安全指導、作業時は軍手の着用、周囲整理整頓するなど、安全に気をつけて実施をお願いします。				

C-1 焼き杉工作資料



焼き杉セット



焼き杉工作 作品イメージ(例)